

2023 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	韓国語Ⅱ (Korean Ⅱ) 112014-14-000					担当教員	権 五景 (グォン オーギョン)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2 年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目								

① 授業のねらい・概要
韓国語による基礎的な日常会話ができることを目指す授業である。授業内容は韓国語Ⅰの復習と動詞・形容詞の活用が中心となる。なお、後期は検定試験の準備も並行する形で行う。また、授業内容は初級と中級の間の水準である。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
コミュニケーション能力
③ 授業の進め方・指示事項
教科書の内容に基づいて、会話を繰り返す。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
韓国語Ⅰの履修が望ましい。
⑤ テキスト（教科書）
木内明（2022）『ゼロからしっかり学べる！韓国語〔文法〕トレーニング』アスク
⑥ 参考図書・指定図書
⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
（i）韓国語文章の日本語訳ができるようになる。 （ii）長岡の道案内ができるようになる。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 日本語訳	辞書さえあればほとんどの韓国語文章の日本語訳ができる	韓国語文章の日本語訳がかなりできる。	不規則変化に戸惑いながらなんとか文脈上の間違いなく日本語訳ができる	教員の助力を得ながら日本語訳ができる	教員の助力があっても日本語訳ができない
(ii) 道案内	道案内が十分できる	筆談を交えながら道案内ができる	辞書、筆談、英語を交えながら道案内ができる	教員の助力を得ながら道案内の会話ができる	教員の助力があっても道案内の会話ができない

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	40%		40%			20%		100%
(i) 日本語訳ができるようになる	20%		20%			10%		50%
(ii) 簡単な会話ができるようになる	20%		20%			10%		50%
フィードバックの方法	添削して返却する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
宿題をしっかりとこなすことが、会話力に直結する。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	韓国語Ⅰの復習（漢字音の読み方）	大声でパターンを暗記する。	120 分
2	韓国語Ⅰの復習（動詞、形容詞の「規則」変化）	大声でパターンを暗記する。	120 分
3	韓国語Ⅰの復習（動詞、形容詞の「不規則」変化）	大声でパターンを暗記する。	120 分
4	韓国語Ⅰの復習（必ず覚えておきたい表現）	大声でパターンを暗記する。	120 分
5	－できない	大声でパターンを暗記する。	120 分
6	－しました、－でした	大声でパターンを暗記する。	120 分
7	－しませんでした、－できませんでした	大声でパターンを暗記する。	120 分
8	－されます	大声でパターンを暗記する。	120 分
9	－されました	大声でパターンを暗記する。	120 分
10	－できます	大声でパターンを暗記する。	120 分
11	「ㄹ」語幹変化	大声でパターンを暗記する。	120 分
12	「ㅁ」不規則変化	大声でパターンを暗記する。	120 分
13	－てください	大声でパターンを暗記する。	120 分
14	－して、－くて	大声でパターンを暗記する。	120 分
15	－けれど	大声でパターンを暗記する。	120 分
16	－している	大声でパターンを暗記する。	120 分
17	－なら、－れば	大声でパターンを暗記する。	120 分
18	「으」不規則変化	大声でパターンを暗記する。	120 分

19	－したい	大声でパターンを暗記する。	120 分
20	－しましょう	大声でパターンを暗記する。	120 分
21	－しないでください	大声でパターンを暗記する。	120 分
22	－しなければならない	大声でパターンを暗記する。	120 分
23	－するつもりです	大声でパターンを暗記する。	120 分
24	－な	大声でパターンを暗記する。	120 分
25	－する…	大声でパターンを暗記する。	120 分
26	－した…	大声でパターンを暗記する。	120 分
27	－してあげる	大声でパターンを暗記する。	120 分
28	－してみる	大声でパターンを暗記する。	120 分
29	－したことがある	大声でパターンを暗記する。	120 分
30	－ガ	大声でパターンを暗記する。	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
読み書き能力の確認のため、簡単な小テストを行う。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性